

■ ご挨拶

日本は四方を海に囲まれ、高い山々をもち、森林に覆われ豊かな自然に恵まれており、哺乳類約100種(クジラ類除く)、鳥類約630種などが生息するなど生物多様性が大変高い国です。また、シカ・イノシシなどの野生動物は地域の自然資源として伝統的に利用されてきた歴史を持っています。しかし、近年、狩猟者の激減、耕作放棄地の増加、里地里山の利用の減少などから、増えすぎた野生動物による農林業被害、自然公園の生態系への悪影響、外来種による生物多様性の攪乱や被害が増加する一方、人間の生活が希少な野生動物の生息環境を脅かしているなど、いくつかの問題点が指摘され、この豊かな日本の野生動物相をどのように維持し、共存していくかが非常に重要な課題となってきました。

特にアジア地域では、絶滅に瀕している野生動物が多い一方、大型獣が増加し、住民との軋轢が生じている地域も少なくありません。野生動物管理に関する既往の枠組みは欧米の狩猟文化を基盤にして発展してきましたが、伝統的知識に基づく野生動物資源利用を背景とするアジア地域には、必ずしも有効ではありません。

このような状況の中、さまざまな分野の研究者がその垣根を越えて、野生動物と人間の共存をどのように維持していくかを考える応用的な学問である野生動物管理に関する国際学会、国際野生動物管理学会がアジアで初めて開催される運びとなったことは、日本の豊かな野生動物相ならびに共存への取り組みを紹介することができることとともに、アジアの研究レベルの向上に対し大変意義あることだと考えております。

つきましては、この趣旨にご賛同いただき、多くの方々から広く寄付金を募りたく、この資料を添えてお願い申し上げます。

2014年7月7日

日本哺乳学会理事長

第5回国際野生動物管理学会

運営委員会会長

梶 光一



■ 第5回国際野生動物管理学会運営委員会

運営委員会：

会長	梶 光一	東京農工大学
会長(海外)	Rick Baydack	マニトバ大学、米国野生動物学会
実行委員長	齊藤 隆	北海道大学
事務局長	吉田 剛司	酪農学園大学
庶務	佐藤 喜和	酪農学園大学
会計	小池 伸介	東京農工大学
監事	間野 勉	北海道立総合研究機構
	常田 邦彦	一般財団法人 自然環境研究センター
顧問	林 良博	国立科学博物館館長
	大泰司 紀之	北海道大学名誉教授

国内運営委員：

池田 透	北海道大学
伊吾田 宏正	酪農学園大学
伊澤 雅子	琉球大学
石井 信夫	東京女子大学
稲富 佳洋	北海道立総合研究機構環境科学研究センター
上野 真由美	北海道立総合研究機構環境科学研究センター
宇野 裕之	北海道立総合研究機構環境科学研究センター
浦口 宏二	北海道立衛生研究所
押田 龍夫	帯広畜産大学
加藤 秀弘	東京海洋大学
木村 順平	ソウル国立大学
小泉 透	森林総合研究所
鈴木 仁	北海道大学
鈴木 正嗣	岐阜大学
高槻 成紀	麻布大学
立木 靖之	NPO 法人 EnVision 環境保全事務所
本川 雅治	京都大学
山田 文雄	森林総合研究所
早稲田 宏一	NPO 法人 EnVision 環境保全事務所

海外運営委員：

Paul Krausman	モンタナ大学
Ken Williams	米国野生動物学会
Darryl Walter	米国野生動物学会
Ed Thompson	米国野生動物学会

Vth INTERNATIONAL
WILDLIFE MANAGEMENT
CONGRESS
Sapporo, Japan
July 26-30, 2015

IWMC
2015

Hosted by
The Mammal
Society of Japan &
The Wildlife Society

Website: <http://www.iwmc2015.org>

The Vth International Wildlife Management Congress
Sapporo, Japan

第5回国際野生動物管理学会

募 金 趣 意 書

第5回国際野生動物管理学会運営委員会



■ 会議の説明

● 第5回国際野生動物管理学会

The 5th International Wildlife Management Congress (IWMC2015)

● 主催 日本哺乳類学会、米国野生動物学会 (The Wildlife Society)

● 共催 「野生生物と社会」学会、日本野生動物医学会、日本霊長類学会、日本鳥学会、応用動物行動学会

● 後援 (予定)

環境省、農林水産省、北海道、札幌市、日本生態学会、個体群生態学会、日本景観生態学会、ヒトと動物の関係学会ほか

● 協力 日本政府観光局 (JNTO)

● 開催期間

2015年7月26日(日)～7月30日(木) <5日間>

● 開催場所

札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目

■ 開催の趣旨と説明

国際野生動物管理学会は、米国野生動物学会 (The Wildlife Society: TWS) が1993年にスタートし不定期に開催してきた会議で、今回5回目を迎え、アジアで初めて開催される野生動物管理の大規模な国際会議となります。

野生動物管理学は、野生動物を資源として適正な水準に保つ科学と技術であり、生態学的な概念と原理を用いる応用科学です。しかし、近年では資源としての課題ばかりでなく、希少種保全、農林業被害、交通事故、外来種問題など人間の社会活動と深く関連した課題が増加していることから、社会科学的な側面からも野生動物管理学を強化する必要性が認識されています。

今回の国際野生動物管理学会では、「国際的に多様な文化と社会に一致した野生動物管理のモデル構築」をメインテーマに、野生動物の個体群動態と分布、生息地利用、被害管理、外来種対策、希少種保全、管理システムや野生動物管理の専門家育成などを主要課題として、研究発表と討論が行われます。

日本での会議の開催は、我が国の研究成果を世界に発信し、世界の第一線で活躍する研究者と最新情報に接するよい機会であり、将来を担う若い世代がさらに飛躍する重要なステップになると期待されます。またアジア諸国の多くの研究者が参加することを通じて、アジア地域における野生動物管理システムの構築と人材養成ならびに野生動物管理学の振興と発展にも大きく寄与するものと期待されます。



■ 会議の概要

(1) 研究発表

プレナリー講演 (招待講演) : 5

シンポジウム : 30 (一部公募)

プレゼンテーション : 150 (公募)

ポスター発表 : 200 題 (公募)

展示 : 公的機関による野生哺乳類の保護管理に関する展示を予定
商業展示も予定

(2) 主な会議のテーマ

「都市と近郊における野生動物管理」「持続可能な野生動物管理としての狩猟」「狩猟獣管理」「野生動物管理政策・倫理・教育」「外来種管理」

(3) 参加予定者

国内 500名 ; 海外 500名 ; 合計 1,000名

(4) 予定参加国と地域

約 50

(アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ボリビア、ボツワナ、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、クロアチア、チェコ、デンマーク、イギリス、エストニア、フィンランド、フランス、ガボン、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、インド、アイルランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、ラトビア、メキシコ、ナミビア、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、南アフリカ、スペイン、スワジランド、スウェーデン、スイス、台湾、タンザニア、トルコ、ウクライナ、アメリカ合衆国、ウルグアイ、ベネズエラ、ジンバブエ)

(5) 予算

収入 52,030 千円 (参加費 35,230 千円、諸収入 800 千円、寄付金 7,000 千円、補助金等 9,000 千円)

支出 52,030 千円 (会議準備費 11,800 千円、会議運営費 34,880 千円、募金経費 2,650 千円、事後処理費 1,800 千円)

■ 寄付を必要とする理由

国際会議の開催には、招待講演者の旅費、滞在費、発展途上国から参加する若手研究者に対する支援など多額の費用が必要になります。

第5回国際野生動物管理学会は、海外 500名、国内 500名、計 1,000名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費は、52,030 千円が見込まれています。これらの諸経費は、本来参加登録費でまかなうことが建て前ではありますが、開催趣旨から、アジア近隣諸国を含む開発途上国や国内外の若い研究者 (例えば、日本哺乳類学会の会員の約 20% が大学院生中心の学生が占めています) に多くの負担は期待できません。こうした若い研究者たちの登録費を低額に抑え、さらに大会関連の印刷物を刊行することを考えますと非常に厳しい予算状況となります。総額 52,030 千円から、参加費等自己負担額 35,230 千円、補助金等 9,000 千円、その他展示会費等 2,800 千円を除く不足額、5,000 千円を学会員皆様の個人的な寄付金および諸企業・諸団体からのご援助に頼らざるを得ないのが現状です。

従いまして、下記の費用を会議に協賛する関係企業等からの寄付金にて充当したいと存じます。本会議の多大な成果をあげるためにも、是非ご支援賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

■ 募金要項

1. 募金の名称 : 第5回国際野生動物管理学会

2. 募金の目標額 : 5,000 千円 (経費総額 52,030 千円の内)

3. 募金期間 自 : 平成 26 年 7 月 8 日

至 : 平成 27 年 7 月 25 日 (会議の前日)

4. 寄附金の使途

第5回国際野生動物管理学会の準備および運営の費用にあてられます

5. 募金責任者 吉田 剛司 (募金委員会委員長)

6. 募金の種類 個人 : 1 口 5,000 円

法人・企業 : 1 口 10,000 円

※口数は任意です。また、任意の金額もお受けいたしますので、ご協力お願いいたします。なお、ご寄付いただいた方のお名前を本会議ホームページ (連絡先参照) にて紹介させていただきます。

7. 寄附金の払い込み方法

1) 個人の方、また税制控除が必要ではない法人・企業の方

下記の口座にお振り込みをお願いいたします。なお、直接入金いただく場合には税金控除は受けられません。

郵便振替口座

店名 : ゆうちょ銀行 ○〇八 (ゼロゼロハチ)

預金種目 : 普通預金

口座番号 : 6129016

加入者名 : 第5回国際野生動物管理学会運営委員会

(ダイゴカイ コクサイヤセイドウブツカンリガクジュツカイギンエイイカイ)

銀行振替口座

店名 : 北洋銀行 野幌中央支店大麻出張所

預金種目 : 普通預金

口座番号 : 4287824

加入者名 : IWMC2015

2) 法人・企業の方、および税制控除が必要な個人の方

「寄附金申込書」(別紙)にご記入の上、下記「独立行政法人 国際観光振興機構」までご郵送ください。「寄附金申込書」が受理された後、「寄付金申し込み受理書」をお送りいたします。ご寄付の支払い方法等につきましては、その際詳細をご案内させていただきます。なお、この方法による寄附金については、金額が1万円以上の場合、税金控除を受けることができます。

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 10F

独立行政法人国際観光振興機構

コンベンション誘致部 開催支援グループ 担当 青山直人

TEL: 03-3216-2905

8. 連絡先

第5回国際野生動物管理学会運営委員会事務局

会計 小池 伸介

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

TEL/FAX 011-388-4710

電子メール : iwmc@rakuno.ac.jp

ホームページ : <http://www.iwmc2015.org>

